

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 7 月 20 日 (2006.7.20)

【公表番号】特表 2005-533908(P2005-533908A)

【公表日】平成 17 年 11 月 10 日 (2005.11.10)

【年通号数】公開・登録公報 2005-044

【出願番号】特願 2004-524795(P2004-524795)

【国際特許分類】

C 0 8 L 67/04 (2006.01)

C 0 8 K 7/26 (2006.01)

C 0 8 K 7/28 (2006.01)

C 0 8 L 27/18 (2006.01)

C 0 8 L 77/10 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 67/04

C 0 8 K 7/26

C 0 8 K 7/28

C 0 8 L 27/18

C 0 8 L 77/10

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 6 月 2 日 (2006.6.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

粒状アラミド約 5 ～ 約 25 重量パーセントと、粒状パーフルオロ化ポリマー約 5 ～ 約 40 重量パーセントと、中空ガラス球または石英球 0 ～ 約 15 重量パーセントと、液晶ポリマーである残部とを含み、ここでいう重量パーセントが、存在する前記粒状アラミド、パーフルオロ化熱可塑性樹脂、中空ガラス球または石英球、および液晶ポリマーの合計量に基づいていることを特徴とする組成物。

【請求項 2】

前記粒状アラミドがアラミド粉末であることを特徴とする請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

約 10 ～ 約 30 重量パーセントの前記パーフルオロ化ポリマーが存在することを特徴とする請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記粒状アラミドがポリ(p-フェニレンテレフタルアミド)であることを特徴とする請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 5】

請求項 1 に記載の組成物を含む電気部品または電子部品。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 3 1 】

【 表 1 】

表1

実施例	LCP	試料の 厚さ、cm	周波数、 GHz	誘電率、 DK	誘電損失率、 e''	損失正接、 e''/e', DF
1	C	0.15	5.2270	2.9130	0.0107	0.0037
2	C	0.16	5.2130	2.9900	0.0106	0.0035
3	A	0.17	5.1980	2.9550	0.0110	0.0037
4	C	0.16	5.2150	2.9670	0.0130	0.0044
5	B	0.16	5.2120	2.9690	0.0104	0.0035
6	A	0.17	5.206	2.974	0.0111	0.0038
7	A	0.16	5.176	3.372	0.0102	0.003
8	A	0.16	5.177	3.394	0.0104	0.0031
A	A	0.16	5.082	4.147	0.0202	0.0049
B	A	0.17	5.071	4.151	0.0197	0.0047
C	A	0.16	5.146	3.701	0.0067	0.0018
D	A	0.15	5.148	3.724	0.007	0.0019

実施例 6 2つのブラックの平均

最後に、本明細書に開示される発明について以下に列記する。

1. 粒状アラミド約 5 ～ 約 25 重量パーセントと、粒状パーフルオロ化ポリマー約 5 ～ 約 40 重量パーセントと、中空ガラス球または石英球 0 ～ 約 15 重量パーセントと、液晶ポリマーである残部とを含み、ここでいう重量パーセントが、存在する前記粒状アラミド、パーフルオロ化熱可塑性樹脂、中空ガラス球または石英球、および液晶ポリマーの合計量に基づいていることを特徴とする組成物。
2. 前記粒状アラミドがアラミド粉末であることを特徴とする前記 1. に記載の組成物。
3. 約 10 ～ 約 30 重量パーセントの前記パーフルオロ化ポリマーが存在することを特徴とする前記 1. に記載の組成物。
4. 前記パーフルオロ化ポリマーがテトラフルオロエチレンのホモポリマーまたはコポリマーであることを特徴とする前記 1. に記載の組成物。
5. 0 ～ 約 10 重量パーセントの前記中空ガラス球または石英球が存在することを特徴とする前記 1. に記載の組成物。
6. 約 8 ～ 約 22 重量パーセントの前記粒状アラミドが存在することを特徴とする前記 1. に記載の組成物。
7. 前記粒状アラミドがポリ(p-フェニレンテレフタルアミド)であることを特徴とする前記 2. に記載の組成物。
8. 約 10 ～ 約 30 重量パーセントの前記パーフルオロ化ポリマーが存在し、0 ～ 約 10 重量パーセントの前記中空ガラス球または石英球が存在し、約 8 ～ 約 22 重量パーセントの前記粒状アラミドが存在することを特徴とする前記 1. に記載の組成物。
9. 前記粒状アラミドがポリ(p-フェニレンテレフタルアミド)であることを特徴とする前記 2. に記載の組成物。
10. 前記 1. に記載の組成物を含む電気部品または電子部品。
11. 前記 1. に記載の組成物を含む電気コネクタ。
12. 前記 8. に記載の組成物を含む電気部品または電子部品。
13. 前記 8. に記載の組成物を含む電気コネクタ。
14. 前記 2. に記載の組成物を含む電気部品または電子部品。
15. 前記 9. に記載の組成物を含む電気部品または電子部品。